

成章会年報

第 5 4 号

愛知県立成章高等学校
成章会事務局
〒441-3421
愛知県田原市田原町池ノ原1
TEL(0531)22-0141
FAX(0531)22-6466
印刷所南太陽社印刷所

出会いの縁に感謝して

成章会会長 石 黒 功

日頃は成章会活動にご理解とご協力頂き誠にありがとうございます。

コロナが終息して3年経ち全国各地の成章会はそれぞれが個性を活かして活動して頂いています。これまでの自身の人生を振り返って出会いの縁について触れさせて頂きます。

人生には長短ありますが、一生の内に会おう数について、一般的に、
・人生でなんらかの接点を持つ人は、約30、000人

・学校や仕事を通じて近い関係になる人は、約3、000人
・親しい会話が出来る人は、約300人
・友達と呼べる人は、約30人
・親友或いは師と呼べる人は、3人という説があります。

多いと感じた方もいるかもしれませんが、世界の人口が80億人を超えている中ではごく僅か、とれると思います。出会いの数も大切ですが、それ以上に「この人に出会えてよかった、この人のお陰で今の自分がある」と心から思える人に何人出会えるか」が人生の醍醐味ではないでしょうか。

そう言う私も70歳を過ぎ、これまでの人生で多くの人との縁をいただけてきました。

仕事、プライベート、そして成章会を含む地域活動を通じて、多くの方々と出会ってきました。



月刊『致知』2025年8月号
(致知出版社刊)より転載

何と言っても仕事を通じて人生・経営の師や友との出会いがありました。母校成章を卒業して55年が経ち様々な人生を歩みながら、今でも親しく、また家族ぐるみでお付き合いしている同級生が少なからずいることに感謝、感謝です。

また、直接の出会いはありませんが、書物を通じて素晴らしい方々の考えや生き方に触れたことも、私にとつてかけがえのない出会いでした。

中でも、私が30代から愛読している月刊『致知』(写真)を通して

じて、多くの偉人、達人たちの言葉に触れ、中には直接お会いする機会も得て大きな影響を受けました。その中から、特に心に残っている言葉を二つご紹介いたします。

一つは、教育者・森信三先生の言葉です。
「人間は一生のうち逢うべき人に必ず会える。しかも、一瞬早すぎず、一瞬遅すぎないときに。」

しかし、うちに求める心なくば、眼前にその人ありといえども、縁は生じず。」

もう一つは、柳生家の家訓として知られる言葉です。
「小才、縁に出逢つて縁に気付かず。中才、縁に気づいて縁を活かす。大才、袖触れあう縁をも活かす」

これらの言葉から、人との出会いの大切さ、そして感謝の心でその縁を受け止めることの大切さを学びました。人生には、心躍る出会いがあれば、緊張する出会いや、気が進まない出会いもあります。しかし、どの出会いにも何らかの意味があることを、最近とくに実感しています。

年齢を重ねると、人との出会いは限られていくと言われるますが、私はこれからも残された人生を、出会いを大切に、感謝の心を忘れず充実した日々を過ごしたいと思っています。

同窓生への思い

校長 青山昌俊

同窓生の皆様には、日ごろより母校に対し、御支援・御協力を賜りありがとうございます。

母校の校長に就任して五年目を迎えます。成章会の皆様や地域の方々から温かい御支援、御協力をいただいていることに感謝しながら、職員、生徒とともに成章高校のいっそうの発展を目指し、教育活動に取り組んでまいりたいと思います。

さて、私が成章高校の生徒であった当時を振り返り、思い出されることは何かと聞かれれば学校帰りに友達と一緒に焼きそば屋さんに寄ったこととか、学校行事



のクラスマッチ、蔵王マラソン、修学旅行などをあげると思いいます。授業のことはあまり思い出しません。大学卒業後、教員になり一番大切にしていたことは授業でした。教師として授業の大切さや、一番にあげ、わかりやすい授業・工夫した教材など授業の準備にどれほど時間をかけたかわかりません。しかし、私の思い出と同じく、私の教えた生徒たちも授業のことはあまり覚えてないのだから、私はさきと身が持たないでしょう。恩師の姿や楽しそうに話す雑談はよく覚えていて、授業の内容は、はつきり思い出されないのは私の授業への集中力が欠けていたからかもしれません。毎日の授業を

普通に受けられ、ある程度理解し、卒業できたことは幸せなことであると思っています。一日一日を大切に過ごそうとする意識や普通に暮らせることへの感謝の気持ちは大人になるにつれ高まってくるものかもしれません。

もう一つ、いつも感じていることがあります。これは、私だけが勝手に感じているのかもしれませんが、成章高校の卒業生とは安心して接することができる。いろいろな場面で成章高校の卒業生と一緒する機会があります。例えば、同じ高校に勤める教員同士であれば、他の方より人と人の間にある壁が薄いように感じます。保護者として会ったときも、親しみを感じます。本校のPTA役員になつてもらったときなども心強く感じました。成章高校の卒業生には時間は異なっても同じ空間で過ごし、同じような思いや経験を持ったであろうと考えてしまいがちです。

第75回成章会総会日程

日 時 令和7年8月10日(日) 10:30～13:30
会 場 畢山会館
次 第

I 部 定時総会 10:30～11:20

- 1 開会のことば
- 2 黙 祷
- 3 会長挨拶
- 4 校長挨拶
- 5 来賓挨拶・紹介
- 6 議長選出

議 事

- 第1号議案 令和6年度成章会事業報告
- 第2号議案 令和6年度成章会一般会計決算報告
- 第3号議案 令和6年度成章会特別会計決算報告
- 第4号議案 令和6年度国際交流基金会計決算報告
- 監査報告
- 第5号議案 役員の選任について
- 第6号議案 令和7年度成章会事業計画案
- 第7号議案 令和7年度成章会一般会計予算案

- 7 報告事項
- 8 お祝い・記念品贈呈
卒業50周年のお祝い・・・高27回
- 9 新理事の紹介・挨拶
- 10 閉会のことば

II 部 記念講演 11:30～12:00

「自然災害被害者ゼロを目指すための第1歩」
講師 富田 典幸 氏 (高47回)

III 部 懇親会 12:10～13:30

- 1 開会のことば
- 2 会長挨拶
- 3 乾 杯
- 4 懇親会
- 5 万歳三唱
- 6 閉会のことば

令和6年度成章会 一般会計決算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

収入総額 2,128,818円
支出済額 1,746,966円
残 額 381,852円 (翌年度へ繰越)

(1) 収入の部 (単位: 円)

科 目	予算額	収入済額	差額増減額	備 考
前年度繰越金	643,167	643,167	0	
入 会 金	895,000	885,000	▲10,000	5,000円×177名
維持会費	500,000	178,529	▲321,471	現金16名80,000円+振込16名98,529円
総 会 費	300,000	272,000	▲28,000	総会懇親会会費+総会時お祝金
雑 収 入	6	150,122	150,116	預金利息122円、豊川成章会より150,000円
合計	2,338,173	2,128,818	▲209,355	

(2) 支出の部 (単位: 円)

科 目	予算額	支出済額	差引残額	備 考
新入会員歓迎費	200,000	204,435	▲4,435	卒業記念品代(卒業証書ファイル)
地区助成費	407,920	407,810	110	各50,000円+振込手数料
総 会 費	300,000	309,909	▲9,909	会場費、懇親会費、講演謝礼
会 議 費	50,000	9,360	40,640	5月理事会お茶代
通信交通費	500,000	265,062	234,938	郵送費、地区総会来賓交通費
印刷費	250,000	221,100	28,900	成章会年報第53号、「くすのき」印刷代
消耗品費	100,000	0	100,000	
慶弔費	250,000	123,410	126,590	ハンドタオル製作費、香料、生花、シール印刷
ホームページ管理費	55,880	55,880	0	サイト保守管理
雑 費	50,000	0	50,000	
基 金	100,000	100,000	0	令和6年度積立金
名簿管理費	50,000	50,000	0	会員名簿データの維持管理費
予 備 費	24,373	0	24,373	
合計	2,338,173	1,746,966	591,207	

令和7年度成章会 一般会計予算書 (案)

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

収入予算額 2,181,974円
支出予算額 2,181,974円
残 額 0円

(1) 収入の部 (単位: 円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
前年度繰越金	381,852	643,167	▲261,315	
入 会 金	950,000	895,000	55,000	5,000円×190名
維持会費	500,000	500,000	0	
総 会 費	350,000	300,000	50,000	会費5,000円×70名
雑 収 入	122	6	116	普通預金利息
合計	2,181,974	2,338,173	▲156,199	

(2) 支出の部 (単位: 円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
新入会員歓迎費	220,000	200,000	20,000	卒業記念品代
地区助成費	305,940	407,920	▲101,980	各地区成章会への助成金
総 会 費	350,000	300,000	50,000	会場費、懇親会費等
会 議 費	30,000	50,000	▲20,000	理事会のお茶代等
通信交通費	400,000	500,000	▲100,000	総会案内はがき、郵送費、地区総会への交通費
印刷費	250,000	250,000	0	成章会年報印刷代、「くすのき」印刷代
消耗品費	100,000	100,000	0	名簿データCD、封筒
慶弔費	250,000	250,000	0	卒業50周年ハンドタオル、香料
ホームページ管理費	55,880	55,880	0	サイト保守管理
雑 費	50,000	50,000	0	
基 金	100,000	100,000	0	基金会計への積立金
名簿管理費	50,000	50,000	0	会員名簿データの維持管理費
予 備 費	20,154	24,373	▲4,219	
合計	2,181,974	2,338,173	▲156,199	

令和6年度卒業生 大学・短大・専修各種学校合格者数および就職先一覧

【1】合格者総計

学 校 別	現役
国立大学	15
公立大学	13
国公立小計	28
私立大(東日本)	23
私立大(中部)	190
私立大(西日本)	45
私立小計	258
国公立短大	1
私立短大	9
大学校・専修各種学校	39
短大・専修各種小計	49
合 計	335

【2】学校別

(1)国立大学

学 校 別	現役
山形	1
新潟	1
長岡技術科学	1
山梨	1
信州	1
静岡	1
豊橋技術科学	1
愛知教育	4
名古屋	3
京都工芸繊維	1
合 計	15

(2)公立大学

学 校 別	現役
高崎経済	1
神奈川県立保健福祉	1
公立諏訪東京理科	1
公立小松	1
福井県立	1

静岡県立	1
静岡文化芸術	1
愛知県立	1
名古屋市立	2
滋賀県立	1
大阪公立	1
尾道市立	1
合 計	13

(3)私立大学

①東日本

学 校 別	現役
フェリス女学院	1
亜細亜	2
芝浦工業	1
千葉工業	2
東海	3
東京女子	1
東京通信	1
東京電機	2
東京理科	1
東洋	2
武蔵野	3
法政	2
北里	1
立教	1
合 計	23

②中部

学 校 別	現役
愛知	20
愛知医科	1
愛知学院	10
愛知学泉	4
愛知工科	5
愛知工業	18
愛知産業	2

愛知淑徳	11
愛知東邦	1
岐阜協立	1
岐阜聖徳学園	3
金城学院	2
桜花学園	1
至学館	6
常葉	8
人間環境	7
椋山女学園	3
聖隷クリストファー	1
静岡理工科	1
大同	9
中京	16
中部	13
東海学園	1
藤田医科	2
南山	6
日本赤十字豊田	2
日本福祉	4
名古屋葵	1
名古屋外国語	5
名古屋学院	10
名古屋芸術	1
名城	10
鈴鹿医療科学	5
合 計	190

③西日本

学 校 別	現役
環太平洋	2
関西外国語	4
関西学院	2
京都外国語	1
京都橘	2
京都産業	2
京都精華	2

近畿	1
大阪工業	2
大阪産業	6
大阪電気通信	1
追手門学院	1
同志社女子	1
奈良	1
立命館	13
龍谷	4
合 計	45

(4)国公立短大

学 校 別	現役
静岡県立農林環境専門職大学短期大学部	1
合 計	1

(5)私立短期大学

学 校 別	現役
愛知大短大部	4
岡崎女子短期大学	2
大妻女子短期大学	1
豊橋創造短期大学	2
合 計	9

(6)大学校・専修各種学校

学 校 別	現役
HAL名古屋	2
トライデントコンピュータ	1
ヒューマンアカデミー名古屋校	1
愛知県立農業大学校	1
厚生看護	1
国際医学技術	1
山野美容	1
名古屋ビジネス・アカデミー	1
大原簿記情報医療	1
中日美容	2
中部コンピュータ・パティシエ	1

辻調理師	1
東海医療科学	1
東海工業	1
東三河看護	1
豊橋歯科衛生士	3
豊橋調理製菓	4
名古屋ECO動物海洋	1
名古屋こども	1
名古屋スイーツ&カフェ	2
名古屋ビューティーアート	1
名古屋ファッション	1
名古屋モード学園	1
名古屋ユマニテク調理製菓	1
名古屋リゾート&スポーツ	1
名古屋医専	2
名古屋工学院	1
名古屋美容	3
合 計	39

【3】就職先一覧

事 業 所 名	普通	総ビ	生文
アイシン(株)		1	1
愛知県厚生農業協同組合連合会産美病院		1	
愛知みなみ農業協同組合		2	
株式会社ウィズ			1
株式会社enutic			1
株式会社さぶろ平			1
社会福祉法人福寿園		1	1
スバル東愛知販売(株)			1
(株)デンソー		1	
東京製鐵(株)		1	
東洋製罐株式会社		1	
トヨタ自動車(株)		2	
日本郵便株式会社			1
合 計	0	10	7



た。「紅雀」のおいしい料理に舌

令和六年度第十三回三重成章会総会は、十月二十日(日)桑名市の山林王と呼ばれた実業家二代諸戸清六旧邸(六華苑)に隣接するレストランROCCA(ロッカ)にて開催されました。この会には本部より成章会会長石黒功様、同副会長渡邊澄子様、成章高校校長青山昌俊先生、豊橋成章会会長、

三重成章会

会長 神谷卓芳(高15回)



中村三成(高20回)



ティアの桑名歴史案内人の方に導

和気あいあいと話が弾みました。

午後二時頃より、二つのグル

に撮影することが出来ました。正

に撮影するものが出来ました。正

真撮影を行いました。当日は秋晴

れのため外庭に出て六華苑を背景

に撮影することが出来ました。正

に撮影するものが出来ました。正

に撮影するものが出来ました。正

に撮影するものが出来ました。正

に撮影するものが出来ました。正

に撮影するものが出来ました。正

に撮影するものが出来ました。正

に撮影するものが出来ました。正

地区成章会だより

遠江成章会

会長 山田典男(高27回)

厳しい暑さから、やっと解放された10月13日(日)に遠江成章会の総会・懇親会を浜松駅北側にある日本料理店「紅雀」にて開催致しました。

総会では石黒成章会会長と青山校長から挨拶を頂きました。

まず、石黒会長より田原市の現状を話して頂きました。市の抱える大きな課題として出生数の減少があること、市の行事としてお祭りと花火大会をそれぞれ開催したこと、市の物産を自信を持ってお勧めしたいとして、ふるさと納税に対して協力をお願いしたいとお話がありました。

青山校長からは、田原市にある3校の高校の現状についてお話があり、人口減少に伴い学級数も減少し、約60年前の我々の時代とは隔世の感がありました。しかし、生徒達は進学・就職で、よく頑張

り活躍していること、成章健児健在とのお話がありました。

総会に続いて懇親会に移り、遠江成章会の佐藤伸二相談役による乾杯の音頭でスタートしました。

鼓を打ちながら談笑の輪が広がりました。

アトラクションでは中国出身で浜松市在住の顧寿智(コジュチ)さんと宋万青(ソウマンセイ)さん夫妻による二胡の演奏で「もみじ(紅葉)」など日本と中国の3曲が演奏され、独特の音色と雰囲気

の音楽に浸ることができました。

その後、ジャンケン大会が行われ、見事、青山校長が優勝し勝負強さを発揮されました。

次に、成章高校校歌及び応援歌を参加者全員で歌いました。関西成章会会長の中村光彦さんは、歌詞も見ずに朗々と応援歌を歌い上げ、皆さんの拍手喝采を浴びました。

最後に、全員で写真撮影を行いました。

短い時間でしたが、有意義な時間を共有できたことを本日参加の皆様方に感謝申し上げます。

中村三成(高20回)

最後に、全員で写真撮影を行いました。

短い時間でしたが、有意義な時間を共有できたことを本日参加の皆様方に感謝申し上げます。

かれて、六華苑の見学をしました。

六華苑は大正二年に竣工した洋館部分と和館部分から成っています。洋館部分は鹿鳴館等を設計した「日本近代建築の父」と呼ばれたジョサイア・コンドルが手がけた地方に残る唯一の作品として注目されています。洋館内では当時イギリスより取り寄せた建材や、マホガニーのテーブル・椅子等が各部屋に使用されていて目を引かれました。和館では縄文杉や松の一枚板等、貴重な建材が使われ家主の財力に驚かされました。庭は「池泉回遊式」日本庭園で、なかなか昇り坂、下り坂や、池の中の石を渡ったりして巡りました。

ガイドさんの説明で、三重県に住む者でも余り知らなかった郷土の建造物の素晴らしさを再確認することが出来ました。県外から来て頂いた方々にも好評だったようで、嬉しく思いました。近くには東海道五十三次の中で唯一の海路である熱田（宮）から桑名の船着場である「七里の渡し」もありますので、是非こちらにも足を運んで頂きたいと思っています。

清水典子（高16回）

豊川成章会

会長 杉原茂行（高17回）

令和六年度豊川成章会の総会及び懇親会を十月二十七日（日）に豊川駅近くの「サーラプラザ豊川」にて、本部の石黒功成章会会長、青山昌俊校長先生をはじめ近隣地区成章会会長の方々にご来賓いただき開催致しました。

豊川成章会の総会は新型コロナウイルスの影響で、しばらく開催できず令和五年度は規模を縮小して開催しました。今年度も継続して小規模での開催としました。

総会では渡辺剛敏豊川成章会幹事長の進行のもと、ご来賓の皆様からのご挨拶をいただいた後、本年度の豊川成章会の活動と会計内容を報告致しました。

ご来賓挨拶では校長先生から成章高校の近況を、本部成章会会長からは田原市や豊橋市の活性化のため、ふるさと納税をはじめと



豊橋成章会

会長 河合勝男（高16回）

今後の生活をより楽しいものにしていきましょう」とのメッセージの後、豊川成章会が用意したお土産と一緒に、鈴木さんの趣味の陶芸作品も全員にお持ち帰りいただき散会となりました。ありがとうございました。

河合直利（高35回）

令和六年度の豊橋成章会総会・懇親会を、11月2日（土）に市内の高千穂会館にて開催いたしました。ご来賓として石黒功成章会会長・成章高校の青山昌俊校長先生をはじめ、各地区成章会会長の方々、そして多数の同窓生の方々にご出席を賜りました。総会では、令和五年度の決算報告、令和六年度の活動報告、そして役員改選として渡会隆行さん（高43回）が新会長になることが承認されました。

今回の懇親会では、市内に住まいの、豊橋市医師会会長で脳神経外科医の福井一裕先生を講師にお招きし「血管年齢と脳卒中予防 認知症の予防」と題し、ご講演いただきました。普段の生活で

三卓のテーブルに分かれる中、テーブルを歩き来しながら、どのテーブルも近況やふるさとの話に花が咲いていました。



してジャンケンゲームも行いました。勝者へのプレゼントは、豊川成章会会長撮影の大判写真の三枚セットを二種類用意しました。『紅葉』と『春の花』の二種類で一回目の勝者ご希望のセットを、二回目の勝者には他方のセットをプレゼントさせていただきました。

再びの歓談タイムの後、成章高校校歌斉唱、そして閉会の辞で散会となりますが、最後に豊川会員の鈴木廣明さん（高17回）からの「趣味を大切にすること

気をつけることをわかりやすくお話しくださいます。

乾杯後は、久しぶりのクラスメイトとの再会で、懐かしい先生の話や部活動の話などの思い出話に盛り上がり、時間を忘れて語り合うことが出来たようです。

会の最後には校歌と応援歌を斉唱しました。久しぶりに大声で校歌を歌うことができた喜びを感じました。この活気が、来年度以降も続いて行くことを願っています。ありがとうございました。

鈴木孝昌（高36回）

関西成章会

会長 中村光彦（高11回）

令和六年度の関西成章会総会を、11月4日にホテルヴィススコニ崎にて開催いたしました。ご来賓として石黒成章会会長・青山成章高校校長はじめ各地区成章会会長の方々のご出席もいただくことができ、総勢47名となりました。

今年は二年に一度の役員改選年にあたりますが、今回は、今までの役員の方々の高齢化・体調不良から役職変更したり、一部の人が役職復帰したりするマイナーチェンジで終わりました。二年後は大きく若返る改選を目指したいとの、中村会長からの話がありました。

今年のアトラクションは、NPO法人ゆずりは学園学園長の香名和子氏（高19回）に講演をお願いいたしました。香名先生には2020年にも講演をお願いしておりましたが、あいにくコロナ禍で関西成章会総会が中止となって実現できなかった経緯があり、四年越しでのご登壇となりました。

ゆずりは学園は、フリースクールとして不登校児支援や通信制高校サポート・就労支援等を行っておりますが、香名先生のお話からは子どもたちへの愛情をひしひしと感じることができました。発達障害児の知覚過敏の話など初めて聞く内容も多く、興味深かったです。



ールとして不登校児支援や通信制高校サポート・就労支援等を行っておりますが、香名先生のお話からは子どもたちへの愛情をひしひしと感じることができました。発達障害児の知覚過敏の話など初めて聞く内容も多く、興味深かったです。



偶然ですが、ゆずりは学園田原本校は私の実家近くにあり、帰省のたびに山の麓の看板やアスレチックのような遊具を見ておりました。今回の講演で、こんな素晴らしい活動をされている事を知り、今後子どもたちのための活動を応援したいと思っています。

懇親会は、テーブル毎の記念撮影の後、会食しながらの歓談となりました。懇親会後半には恒例の抽選会が行われ、渥美半島特産ポインセチア・京都の菓子・手作り花柄プリントマスクなど、空くじなしのプレゼントタイムとなりました。当選品を手にした皆様の満面の笑顔がとても印象的でした。最後に成章高校校歌・応援歌の大合唱や万歳三唱などが行われました。

今年は都合により11月4日開催となりましたが、令和七年は例年通り11月23日の開催となることをお伝えし、散会となりました。次回はいよいよ多くの皆様と楽しく時間を過ごしたいと思っています。ありがとうございました。

坪井智子（高30回）

名古屋成章会

会長 鈴木靖之（高23回）

晴天に恵まれ令和七年五月十八日（日）名古屋成章会がルブラ王山にて開催されました。

本部石黒同窓会会長、山下田原市長、青山校長はじめ各地区会長他、会員七五名のご参加となりました。



原幹事の司会進行による開会の言葉に始まり、I部定時総会は、鈴木名古屋成章会会長のご挨拶で、同窓会組織継承のため地区体制の再編を基に、縦横の関係強化の必要をお話しされました。

続いて石黒同窓会会長による祝辞・成章会の現状を踏まえ、教育者とともに卒業生も成章高校の位置づけを知人や地域に発信し、田原を盛り上げること、年度の集まりや関係者の交流の機会を増やすことなどが必要であるとお話がありました。

次いで議事として事業報告、決算報告について原案どおり承認されました。

本年度はパンフレット紙面による司会からの紹介をもって、副会長・監事選任及び役員・本年度幹事等紹介とさせていただきます。

青山校長より、昨年度の進路や部活動の活躍など、今も変わることなく実直に努力する生徒の様子をご報告いただきました。

名古屋成章会の取り組みとして、伊藤幹事長、中島幹事から昨年総会のアンケート調査結果を基に定時総会の案内と出欠確認を、希望者にグループLINEアプリ

クルーズ、蔵王山展望台からの三河港大橋の夜景。保育料、施設など子育て支援など夢のある構想を発表されました。

くじ引き形式の余興で、配布パンフレット表紙絵の原画プレゼント企画など場が和んだところで、最年長高7回孤田恒夫さん、最年少高65回佐藤綾香さんによる乾杯の音頭が始まり、懐かしい映像「田原今昔」（高25回藤城信幸さん制作・提供、南屋巳枝子さん編集）を背景に歓談の時間を愉しみました。

今年の企画画オープンマイク「頑張ってます」を特設し、高8回小野寺陽子さんがご自身50年にわたる投稿活動の集大成として纏められたご出版書籍「今日も明日も上向いて」ご紹介、已年でブレイクした「白美龍神社」お世話人の15回小久保典要さんのお話、高51回川合道子さんより成章高校野球部OBチームの第8回マスターズ甲子園愛知大会決勝のご紹介（後日2025・6・1国府高校OBチームに勝利し成章OBチーム優勝）など会員さんの取り組みを紹介を交え盛りだくさんの内容で、例年恒例、高11回中村関西成章会会長による無伴奏応援歌に続き校歌で盛況のうち、遠路ご参加の皆様により感謝しつつ、再会を祈念し閉幕しました。

（文入野麻子 写真鴨下加代子）

成章会ホームページ 充実してきました

令和3年2月に成章会ホームページを開設しました。成章高校、成章会の情報を発信しますのでぜひご覧ください。

